

「ライブ公開提出箱」で個々の考えを共有し合っ
て子ども主体の学びを支援しながら、
4 × 1 2 を様々な見方で考える授業

第2学年2組 算数科学習指導案

指導者 黒政 晋太郎

1. 単元名 九九のきまり

2. 教材観

本単元は、学習指導要領、第2学年の2内容A「数と計算」(3)に示された指導事項のうち、乗法九九の表を構成したり観察したりして、計算の性質やきまりを理解することをねらいとして設定された単元である。子どもたちはこれまでに、「かけ算(1)(2)」で乗法の意味を理解し、乗法九九の構成を通して(1位数) × (1位数)の計算ができるようになってきている。本単元では、これまで構成してきた乗法九九を表にまとめることで、乗法の性質やきまりに着目させ、乗法九九の理解を深める。また、その性質やきまりを用いることで、簡単な場合の2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えていくものである。

3. 指導観

本学級の子どもは、算数の学習を楽しんでいると思われ、意欲的に取り組んでいる。個人差は大きいですが、自分の考えを伝えたり、友達と教え合ったりするなどして学習することができている。

本時では、タブレットを活用して個々の考えを共有し合えるようにする。「見いだす」では、自分の意見をカードで色分けして提出し、誰がどの考えで解いていきたいかをモニターに映し出す。「自分で取り組む」では、「ライブ公開提出箱」を使って、全員の考えが見られようにする。自分と同じ考えの友達と話し合ったり、違う考えの友達の意見を聞いたりしながら、様々な見方で考えられるように指導していきたい。

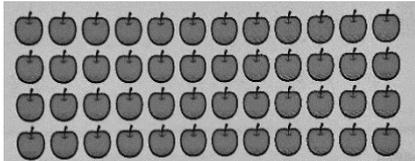
4. 単元の目標

- 【知識及び技能】 九九の表を使って、同じ答えのかけ算を見つけたり、乗法に関して成り立つ性質を理解したりすることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 九九の表の考察を通して、いろいろなきまりを見つけることができる。また、簡単な2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 九九の表やかけ算のきまりに関心をもち、進んできまりを見つけたり、活用したりしようとする。

5. 本時の指導(6/8)

(1) 目標【思考力、判断力、表現力等】九九の構成の仕方をもとに、4 × 1 2の求め方を乗数と積の関係を使って考えることができる。

(2) 展開

学習過程 (時配)	学習活動と内容 ◎教師の発問 ・子どもの反応	○留意点 ☆評価(方法)	資料
見いだす (10分)	<p>1. 既習事項を振り返る。</p> <p>2. 本時の素材を提示する。 りんごは何こありますか。</p>  <p>◎かけ算の式にすると ・ 4 × 1 ・ 4 × 2 ・ 4 × 3</p>	<p>○前時までに学習した3つのかけ算のきまりについて確認する。</p> <p>○4のまとまりを1列ずつ見せていき、九九の4の段よりもかける数が大きくなることがわかるように、モニターに学習素材を提示する。</p>	<p>パワーポイント 掲示用</p>

	<p>◎何を数えようとしていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4がいくつあるか数えている <p>◎式にすると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4×12 ・九九にない <p>3. 学習問題を確認する。</p>		
	<p>九九にないかけ算の答えを求めるには、どのようにすればよいか。</p>		
<p>自分で取り組む (5分)</p>	<p>4. 4×12の求め方の見通しをもつ。</p> <p>◎4×12の計算は、どのように求めればよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりをつかえばいい。 ・九九の表に付け足す。・図を使う。 <p>◎どのきまりを使って考えますか。</p> <p>5. 自分で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を使って4ずつ増やしていく方法 ・$4 \times 9 = 36$ $4 \times 3 = 12$ $36 + 12 = 48$ ・$8 \times 6 = 48$ ・$4 \times 12 = 12 \times 4$ $12 + 12 + 12 + 12 = 48$ 	<p>○どのきまりを使うのかをカードで選び、モニターに映し出して全体で共有する。</p> <p>○タブレットで課題を送る。</p> <p>○友達の考えがリアルタイムで見られるように、ライブ公開提出箱を設定しておく。</p> <p>○相談タイムは自由に行ってよい。</p>	<p>発表ノート →提出箱</p> <p>発表ノート プリント</p>
<p>広げ深める (20分)</p>	<p>6. 全体で話し合う。</p> <p>◎求めた方法に名前をつけましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①かけられる数ずつ増やす方法 ②ほかのかけ算方法 ③入れかえ方法 ④わけてたす方法 <p>7. じゃあ問題を解く。</p> <p>◎他の問題でもきまりが使えるのかな。 3×11</p>	<p>○全員の考えをモニターに映し出し、発表する子どもの考えは、その都度、拡大する。</p> <p>○それぞれの求めた方法にネーミングする。</p> <p>☆九九の構成の仕方をもとに、4×12の求め方を乗数と積の関係を使って考えることができたか。(発言・ノート)</p> <p>○ノートに自分の考えや友達の意見を書く、時間を確保する。</p>	<p>発表ノート プリント</p>
<p>まとめあげる (10分)</p>	<p>九九にないかけ算を求めるには、「かけられる数ずつ増やす方法」「入れかえ方法」「わけてたす方法」ですとよい。</p>		<p>発表ノート プリント</p>
	<p>9. 算数日記を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ数ずつ増やすとできた。 ・きまりを使うと簡単にできた。 	<p>○本時で「学んだこと」や「気付いたこと」を書くように声をかける。</p>	